

6日間のタイムテーブル

会場	コンテンツ	1月30日(金)	1月31日(土)	2月1日(日)	2月2日(月)	2月3日(火)	2月4日(水)
1階 オープンスクエア	A 共に学び、 生きる共生社会 コンファレンス in 仙台		[第一部] 10:30~12:30 (受付10:00~) [第二部] 13:30~16:00 10:00~16:00 子ども造形 アトリエ 「アートフィールド くうか」の あそびの場				
	B 手ではなす おはなしの会			10:30~11:30 (受付10:10~)			
	C 障害と芸術文化の ブース・セッション!!			13:00~17:00			
	E 障害と芸術文化 のブース	← 10:00~18:00 →					
	F ニューカマーセブン	← 10:00~18:00 →				13:30~ アート・ インクルージョン・ ファクトリーの 「ノイズ・セッション」	
	G ひだまりの ギフト展	← 10:00~18:00 →					
	H GOOD JOB STORE ポップアップストア	← 10:00~20:00 →					
	H いろんな「読む」の カタチ展	← 10:00~18:00 →					
D 図書館はじめてツアー ※集合は1階 オープンスクエア	← 蔵書点検のため2~4階 仙台市民図書館、 せんだいメディアテーク映像音響ライブラリーは休館日 →					[1回目] 10:30~11:30 [2回目] 14:00~15:00	[1回目] 10:30~11:30 [2回目] 14:00~15:00

2~4階
仙台市民図書館

同時期開催

第56回「私たちの作品展」

[時間] 1月30日(金)~2月4日(水) 10:00~18:00 ※最終日は14:30終了
[会場] 6階ギャラリー a
主催: 障害児(者)を守る日実行委員会



私たちの作品展

知的障害者による芸術祭 第29回「ビュア・ハーツアート展」

[時間] 1月30日(金)~2月4日(水) 10:00~18:00 ※最終日は15:00終了
[会場] 6階ギャラリー b
主催: 仙台市知的障害者芸術文化協会



ビュア・ハーツアート展

エイブル・アート・ムーブメント30周年記念ミニ巡回展

[時間] 1月30日(金)~2月4日(水) 10:00~18:00
[会場] 1階オープンスクエア
主催: 一般財団法人たんぽぽの家 / NPO法人エイブル・アート・ジャパン
1995年に始動したエイブル・アート・ムーブメント。障害のあるなしにかかわらず、社会的に弱い立場にある人のニーズから社会を構想し、オルタナティブな生のあり方を提案する市民芸術運動の30周年を記念した事業(2025年11月京都開催)の一部巡回展です。



エイブル・アート・ムーブメント
30周年記念展示
撮影: 仲川あい

申込方法

「要申込」のプログラム **A D** については、WEBサイト内の申込フォーム、または下記の必要事項をご記入の上、メール・電話・FAX・郵送にてお申し込みください。定員になり次第、締め切らせていただきます。定員を超えてご希望に添えない場合のみ、ご連絡いたします。

申込フォームはこちら

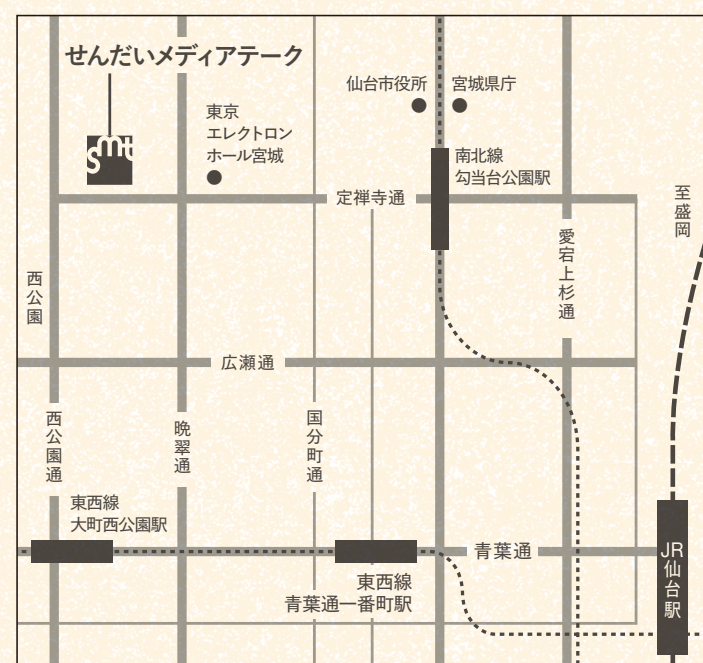


必要事項

- ① 参加希望のプログラム
- ② お名前(ふりがな)
- ③ 所属団体・活動内容
- ④ 連絡先(居住市町村名、電話番号、FAX・Eメール)
- ⑤ 同伴者の有無、必要な配慮など

会場 せんだいメディアテーク

〒980-0821 宮城県仙台市青葉区春日町2-1



交通案内

【徒歩の場合】

○仙台駅より約30分(約2.0キロメートル)

【地下鉄の場合】

○南北線勾当台公園駅下車、「公園2」出口から徒歩7分(約450メートル)

○東西線大町西公園駅下車、「東1」出口から徒歩13分

○東西線青葉通一番町駅下車、「北1」出口から徒歩17分

【バスの場合】

○仙台市営バス仙台駅前60番(仙台TRビル前・地下鉄仙台駅「中央2」出口前)のりばから「定禅寺通市役所前経由交通局大学病院」行きで約10分、メディアテーク前下車

【駐車場】

せんだいメディアテークのWEBサイトをご覧ください。
→ <https://www.smt.jp/smt/facilities/service>

【お問い合わせ】

特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン東北事務局

〒980-0011 仙台市青葉区上杉 4-1-50-1階

【TEL】070-5328-4208 【Email】soup@ableart.org

【FAX】022-774-1576 【WEB】<https://soup.ableart.org>

WEBサイトはこちらから



この用紙はリサイクルできます

障害のある人の芸術文化活動を きく、みる、しる6日間

さあ、見本市でたくさんの人・モノ・ことに出あいませんか。「障害のある人と芸術文化活動」に関する多様な個人・団体・活動を紹介するこの見本市。表現する人たちの様子を知りたい、芸術文化活動の機会や場を探している、活動の相談先を探しているなど、次の一步を踏み出すヒントとして、各プログラムをお楽しみください。新たな出あいの場となれば幸いです。

見本市。 見しみて、 きいて、

第8回 障害のある人と
芸術文化活動に関する大見本市



日時 2026年
1月30日(金)~2月4日(水)
10:00~18:00

会場 **せんだいメディアテーク**
1階 オープンスクエア 他

入場
無料



全席自由



筆談ボードあり



車椅子可



多目的トイレあり



プログラム開催中の
入退場可



声を出してもOK



補助犬OK



ゆずりあい
駐車場あり

A 共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 仙台
自由に学びあい、自由に表現しあう世界をつくる

【時間】10:30～16:00(受付10:00～) **【会場】**1階オープンスクエア
【対象】すべての人、障害のある人と家族・支援者、福祉事業所の人、特別支援学校・学級の人、社会教育に関わる人 など

仙台市で本コンファレンスが開催されて4回目になります。仙台市では、障害がある人もない人も共に学びあう場をつくる、その方法に、アート(表現活動)を真ん中において取り組んできました。

アートには、誰かがつくったものを鑑賞する、ということに限定されない向きあいがあります。アートは、障害のある人たちが、自ら編み出し、自らを解放し、他者の人生をも励ます可能性を秘めています。では実際に、どのような表現が編み出されてきたのか。そのことが何をもたらしてきたのか。午前の部では、実際に取り組まれた表現活動と、そこへの参加者の声を通して、その意味を確認しあいます。

午後は、静岡で家庭文庫を続けながら、図書館の発展を願う活動を続けてこられた草谷桂子さんをゲストに、「本を読む」という、あらたなことを知るこの入り口へと誘う場である「図書館」について、理解を深めます。障害のある人もない人も、それぞれの人生を豊かにして行く上で、図書館という広場をどう使っていくか。その可能性を探ります。

はじめに「障害者の生涯学習施策」文部科学省障害者学習支援推進室

第1部 「アートで、あたらしい世界への扉をひらく」

【時間】10:30～12:30
【定員】80人程度

① **事例報告「わたしからはじまるみんなの学び スウブノアカデミア」**
障害のある人が、「好きなこと」「やってみたいこと」からワークショップや講座を企画・運営するスウブノアカデミア。今年度は5つのプログラムを行いました。そのひとつとして、漫画家である毒田さんと、ミュージカル愛をもつりかささんがタッグを組んでミュージカルをつくりました。そのプロセスには、仙台市の演劇人が関わりました。生きるためのアート、その本質を彼女たちの言葉から探ります。
発表 毒田不二子、りか(スウブノアカデミア参加者)

② **事例報告「カラフル★クラブ」**
カラフル★クラブは、自閉スペクトラムな人たちの、感じている世界の発信です。この魅力的な世界を発信し、互いに、この世界を楽しむことを目指しています。ふだんのステージ発表では、「いいね」「あるある」カードで共感し合ったり、展示発表では、橋渡しをしながら、出展者と観客の「共時性」を大切にしています。「自閉スペクトラムな人たちにとって、分かってもらう・喜んでもらう体験は大切」とする、この活動について発表します。
発表 認定NPO法人グループゆう／仙台地域活動推進センター 佐藤裕信、カラフル★クラブ参加者

③ **事例報告「特別支援学校卒業後における生活介護利用モデルの作成事業」**
社会福祉法人あいの実では、重症心身障害のある人が、学びの喜びを享受できる環境とは何かを検証しながら、さまざまな活動を行っています。視線入力装置をもとに絵を描く取り組みがありますが、今年度は成人の皆さんと『好き』を探索する個別プログラムの創出と実践を始めました。その活動について報告します。
発表 岩元優子(社会福祉法人あいの実スタッフ)

コメント 石井山竜平(東北大学)、梅田真理(宮城学院女子大学)

休憩

第2部 「あたらしい世界への扉としての図書館」

【時間】13:30～16:00
【定員】80人程度

① **おはなし「あたらしい世界への扉 図書館ってどんなところ？」**
草谷さんは、図書館とは「古今東西のあらゆる資料を公平公正に収集・蓄積・保存し、過去と現在を知り、それをヒントに未来への展望を見せてくれる「知の宝庫」、 「赤ちゃんから老人まで、外国の人にも障害のある人も、全ての人に本を読む喜びと、知る自由と、学ぶ権利を保障してくれるところ」と語ります。そして、「図書館の自由に関する宣言」を通じて、私たちの知る自由、学ぶ権利をどのように守り、生かしていけるかを探るための入り口にたちます。
登壇 草谷桂子(童話作家・トモエ文庫主宰)

② **ディスカッション「図書館の自由に学ぶ、あたらしい扉がひらかれる条件とは」**
登壇者でセッションを行います。
コメント 高橋将人(南相馬市中央図書館司書)

おわりに 対話の時間(感想とおもいの共有)
障害のある人もない人も、1日を通じて感じたことを、自由に語りあいましょう。

進行 池澤美月(介護士)、石井山竜平(東北大学)、佐竹真紀子(一般社団法人NOOK)

主催：仙台市教育委員会、文部科学省 後援：宮城県教育委員会 企画・運営：特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン 協力：一般社団法人NOOK 文部科学省委託事業 令和7年度「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業」

参加無料 要申込

手話通訳あり 要約筆記あり 入退場可

※後日オンラインで録画配信予定(詳細はSOUPのWEBサイト)



撮影：三浦晴子

共に学び、生きる共生社会コンファレンス

文部科学省では、障害のある人の学校卒業後の学びの場が充実していないことを課題とし、障害のある人の生涯にわたる学びや文化芸術・スポーツ活動への支援を推進しています。これを受け仙台市では、関係局や外郭団体等(福祉・教育・就労・男女共同参画・市民活動・文化芸術・スポーツ)によるコンソーシアム(共同体)での会議をおとして、さらなる支援体制の整備を進めています。この連携のもと、市民への普及啓発のため「共生社会コンファレンス」を開催します。

「あそびの場」を開設します!

アートの囲まれながら誰でも思い思いに時間をすごせる「あそびの場」を、会場内に設けます。「子どもと一緒に来たい」「途中で休憩や気分転換できる場所が欲しい」という方も、ぜひコンファレンスにご参加ください。

協力：子ども造形アトリエ アートフィールドくらうか

B 手ではなすおはなしの会

参加無料 申込不要 直接会場へ

手話による絵本の世界へようこそ!

ボランティアグループ「まほうの手」が、手話による絵本の読み聞かせを行います。聞こえる子ども大人の方もどなたでも参加できます。一緒に手話による絵本の世界を楽しみませんか?

【時間】10:30～11:30(受付10:10～)

【会場】1階オープンスクエア

【対象】幼児～小学生程度(大人も参加できます)

【定員】20組程度(お子さま優先でご案内します。人数が多い場合は、大人の方は会場後方で見学をお願いします)

主催：仙台市民図書館、せんだいメディアテーク



E 障害と芸術文化のブース

【時間】10:00～18:00 **【会場】**1階オープンスクエア

障害者芸術活動支援センター@宮城(愛称:SOUP)は、障害のある人と芸術文化をつなぐ中間支援のセンターとして活動しながら、関係者のネットワークや学びあいの場をつくり出しています。近年、障害のある人が参加できる活動(音楽、演劇、サーカス、ダンス、美術など)や、障害のある人の参加を待っている社会教育施設(美術館、博物館、動物園、図書館など)が増えてきました。そしてそれを支える人材(教員、社会教育主事、コーディネーター)などの育成も活発化しています。地域で行われているさまざまな取り組みを紹介します。

参加団体
「アート×教育」2025ワークショップ実行委員会、NPO法人アートワークショップすんぶちよ、NPO法人エイブル・アート・ジャパン、音楽企画ムジカノヴァ、一般社団法人音楽のおもちゃ箱、子ども造形アトリエ アートフィールドくらうか、さぐる・おどる企画、仙台市(青葉山エリア複合施設整備室・防災環境都市推進室)、仙台市教育委員会(生涯学習課)、公益財団法人仙台市市民文化事業団、せんだいメディアテーク、名取市文化会館(公益財団法人名取市文化復興財団)、一般社団法人PLAY ART せんだい、渡邊デザイン

令和7年度 宮城県障害者芸術文化活動支援業務(運営：特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン)



撮影：三浦晴子

C 障害と芸術文化のブース・セッション!!

参加無料 申込不要 直接会場へ

参加の扉をひらこう!

「障害と芸術文化のブース」がステージ上に集まって活動を紹介し合います。障害のある人が参加できる活動(音楽、演劇、サーカス、ダンス、美術など)、障害のある人の参加を待っている社会教育施設(美術館、博物館、動物園、図書館など)、人材育成(教員、社会教育主事、コーディネータ)事業です!さあ、みんな集まれ～。

【時間】13:00～17:00 **【会場】**1階オープンスクエア **【対象】**どなたでも **【定員】**80人程度

【タイムスケジュール】 **気になるプログラムに参加しよう!**

- ▶ **13:00～14:00**
・「あなたの元へ音楽会を届けます」 音楽企画ムジカノヴァ
・「広場の人形劇アウトリーチ、アトリエつくる」 NPO法人エイブル・アート・ジャパン
・「文化芸術アウトリーチ活動実態調査」一般社団法人PLAY ART せんだい
- ▶ **14:00～15:00**
・「感覚から広がる【アート×教育】の可能性」 「アート×教育」2025ワークショップ実行委員会
・「手話通訳つき・音楽を使わないダンスワークショップ【さぐるからだ、みるわたし】」 さぐる・おどる企画
・「ゆるゆるシネマほか」 せんだいメディアテーク
・「文化芸術を地域に生かす創造支援事業」 公益財団法人仙台市市民文化事業団
- ▶ **15:00～16:00**
・「どなたでもコンサート」 一般社団法人音楽のおもちゃ箱
・「フラットシアターフェスティバル」 NPO法人アートワークショップすんぶちよ
・「空間づくりにおける当事者参画 大阪・関西万博を中心に」 東北福祉大学共生まちづくり学部 石塚研究室
- ▶ **16:00～17:00**
・「(仮称)国際センター駅北地区複合施設【音楽ホール+中部震災メモリアル拠点】の整備」 仙台市(青葉山エリア複合施設整備室・防災環境都市推進室)

主催：特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン

手話通訳あり 要約筆記あり



「アート×教育」2025 ワークショップ 撮影：三浦晴子



さぐるからだ、みるわたし



フラットシアターフェスティバル



D 図書館はじめてツアー

参加無料 要申込

読みたい本を見つけよう!

これまで図書館を利用したことのない人を対象にスタッフがツアーを行います。図書館の中にあるさわる絵本や大きい文字で書いてある本、音で本が読めるデージー図書など色々な本と一緒に見てみましょう。最後はそれぞれ自分の利用者カードをつくり、自分の読んでみたい本を借りてみます。

【時間】10:30～11:30、14:00～15:00(各日2回開催)

【会場】仙台市民図書館(2～3階)

※1階オープンスクエアに集合して、みんなで移動します

【定員】各回8名(事前申込制、先着順)

【対象】障害のある13歳以上の人(障害の種類、障害者手帳の有無は問いません)

主催：仙台市民図書館、せんだいメディアテーク



手話通訳あり(午後の回ののみ)

G ひだまりのギフト展

【時間】10:00～18:00 **【会場】**1階オープンスクエア

宮城県内の福祉施設が手掛ける、お菓子と雑貨を取り揃えたポップアップストアです。お茶やコーヒーにぴったりな焼菓子や、個性が光るアート雑貨など、おなかも心も満たされるアイテムが並びます。お気に入りを見つけたらぜひお立ち寄りください。

参加団体
アート・インクルージョン・ファクトリー(仙台市)、希望の星(仙台市)、きゆう(石巻市)、コッペ(仙台市)、多夢多夢舎中山工房(仙台市)、ふおれすとあゆみ(仙台市)、ワークスペースまぼ(仙台市)、ほうゆう(仙台市) 他

令和7年度 宮城県障害者芸術文化活動支援業務(運営：特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン)

開催中

「GOOD JOB STORE」によるポップアップストアがオープン!全国の障害のある作家の作品や、福祉施設でつくられたユニークな商品などが並びます。

【会場】カネイリミュージアムショップ6(せんだいメディアテーク1階)
【会期】1月14日(水)～2月8日(日)
【時間】10:00～20:00



撮影：三浦晴子

H いろんな「読む」のカタチ展

【時間】10:00～18:00 **【会場】**1階オープンスクエア

読書には、紙に印刷された文字を読むだけではなく、いろいろな楽しみ方があっていいですよね?見えない人やお目が見えにくい人だけではなく、読書が苦手と感じる人も楽しめるように工夫された図書を紹介します。

主催：仙台市民図書館、せんだいメディアテーク

1月30日(金)～2月2日(月)は蔵書点検のため2～4階 仙台市民図書館、せんだいメディアテーク映像音響ライブラリーは休館日

